

2. 医療と介護の連携について



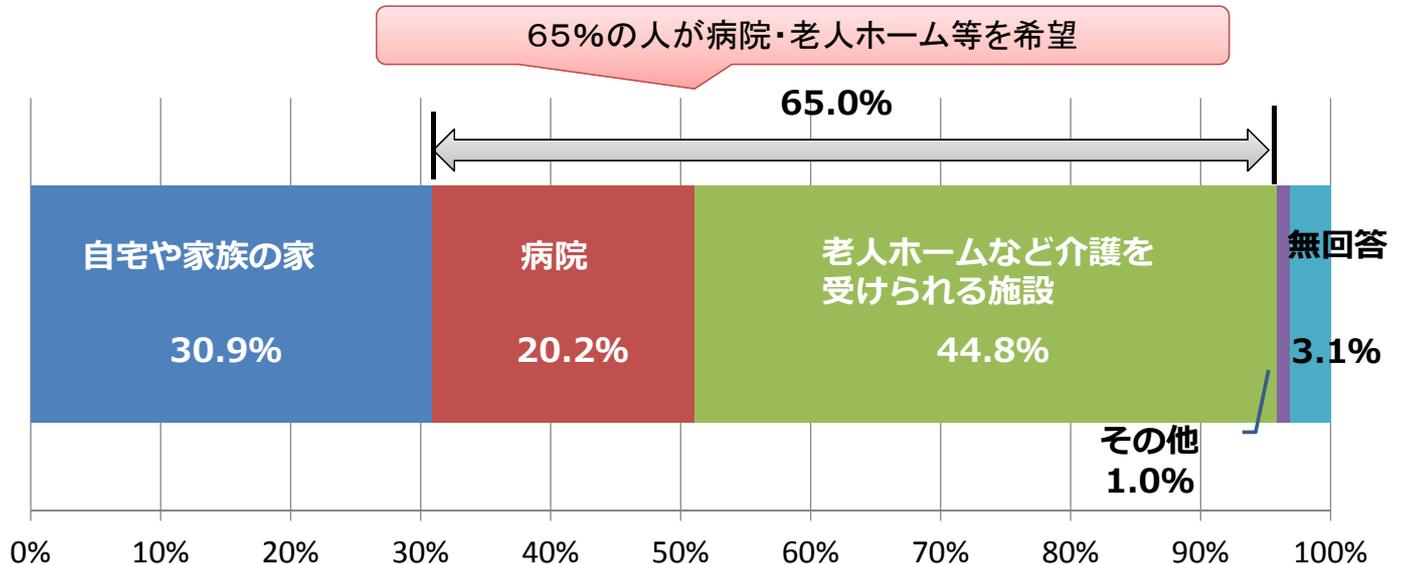
加賀市健康福祉部長寿課

平成 29 年 11 月 16 日

療養場所・人生の最期を過ごす場所の市民の意向

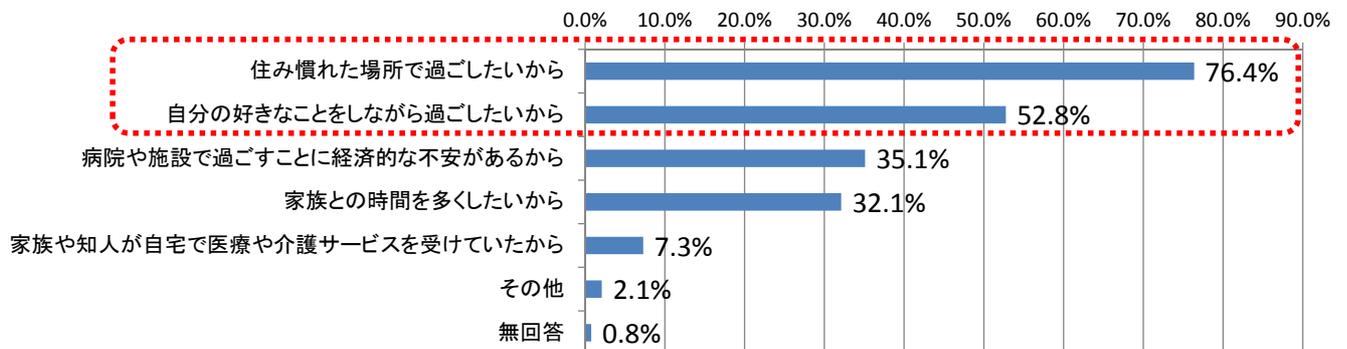
長期的な療養場所の希望

□ 自分自身が病気などにより**数年間**の長期療養や介護を必要とする状態となったとき、どこで暮らしたいと思いますか。 n=2,930

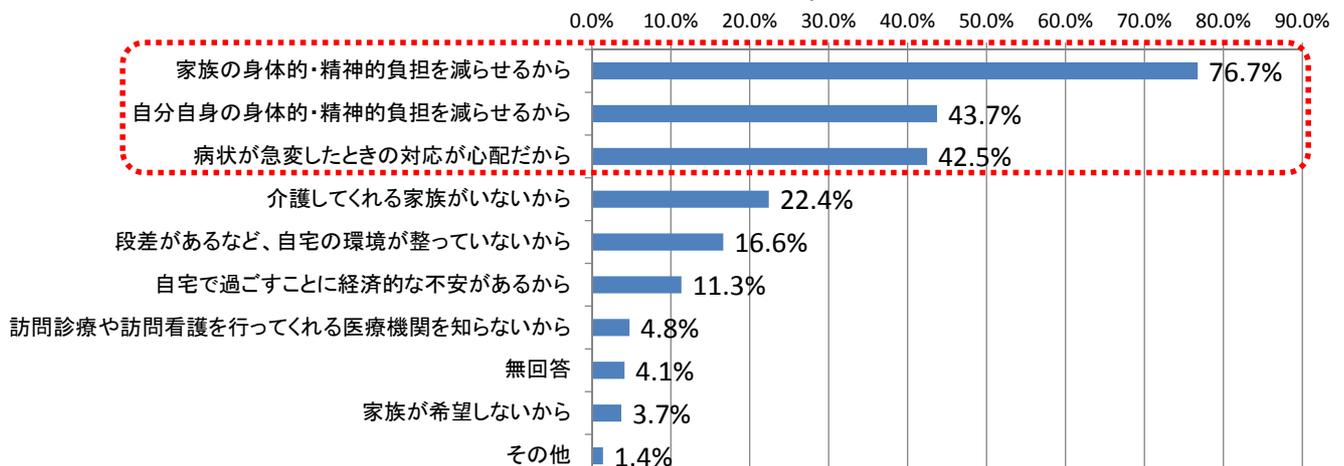


出展:平成28年度加賀市超高齢社会に関する市民意識調査

「自宅や家族の家」を望む理由 [複数回答] n = 906

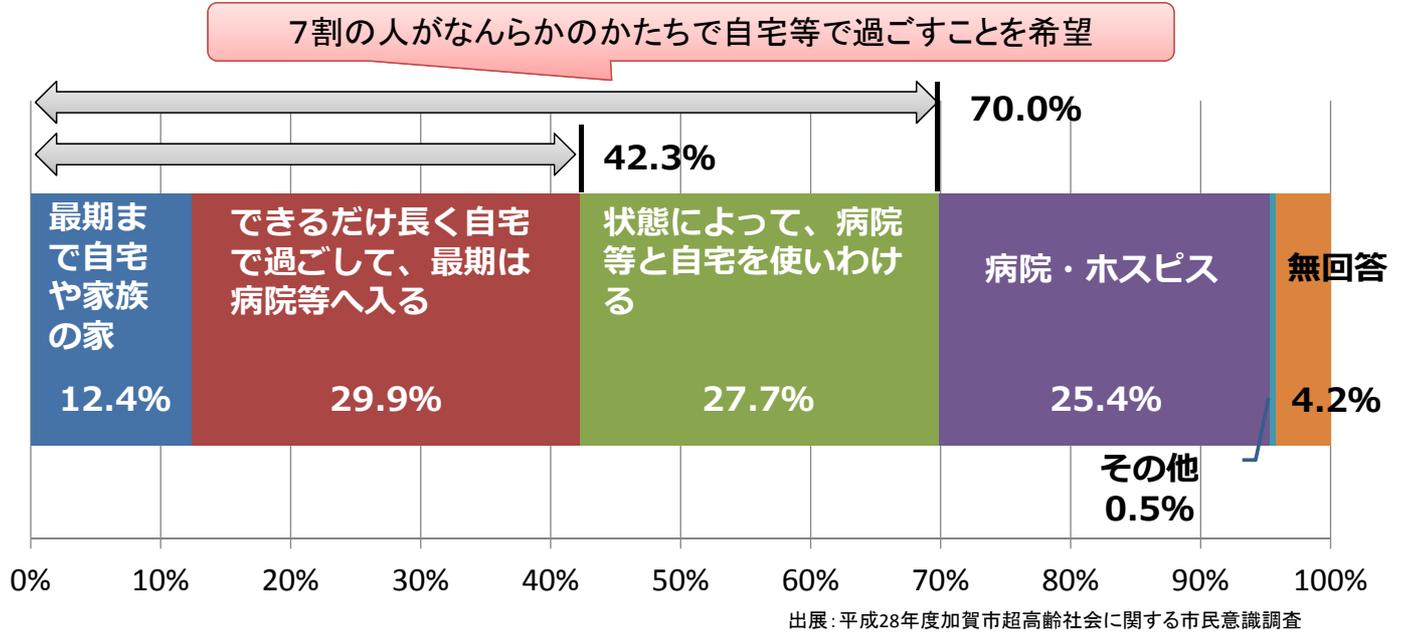


「病院」や「介護施設」を望む理由 [複数回答] n = 1,905

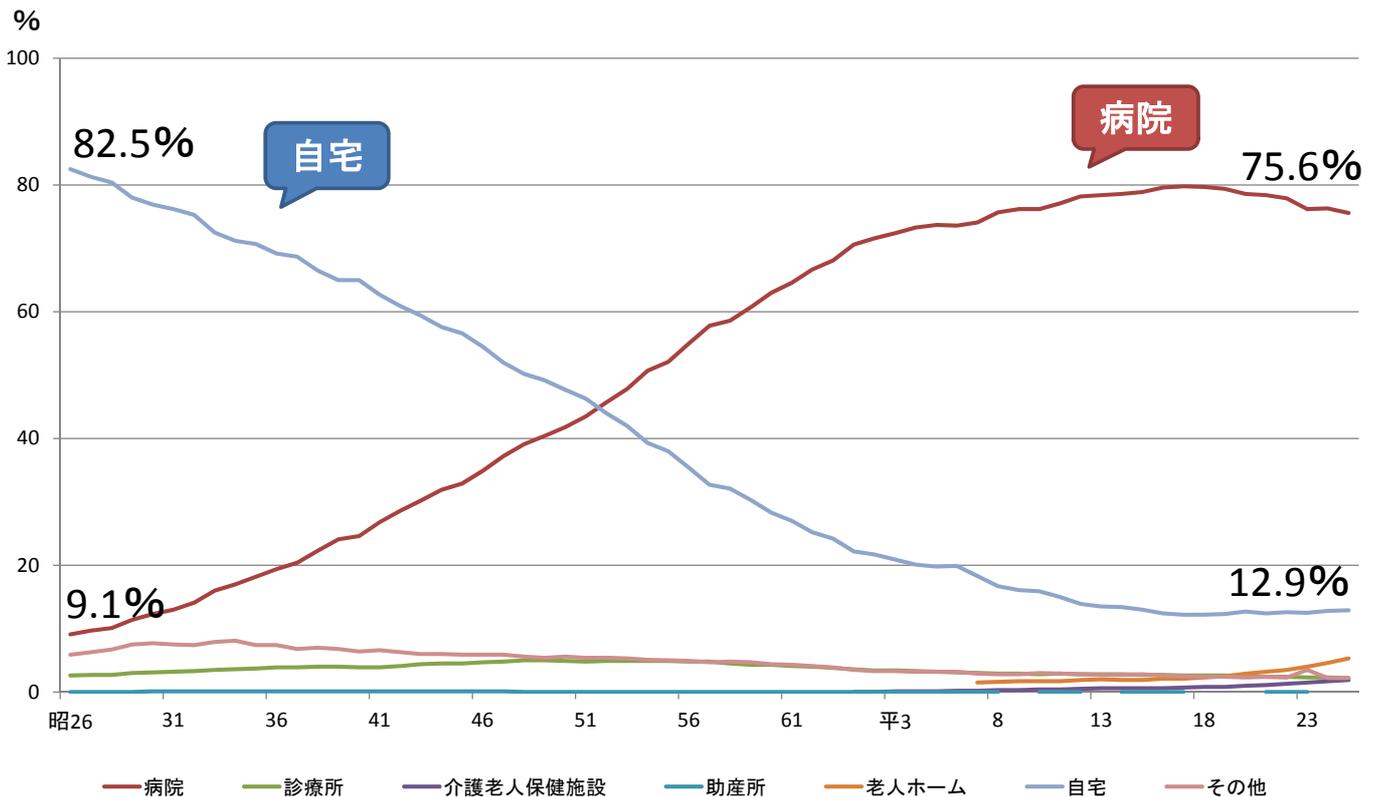


人生の最期を過ごす場所の希望

□ 自分自身が、がん等で長く生きられない(例えば、余命6ヶ月)と宣告された場合に、どこで暮らしたいと思いますか。人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか。 n=2,930



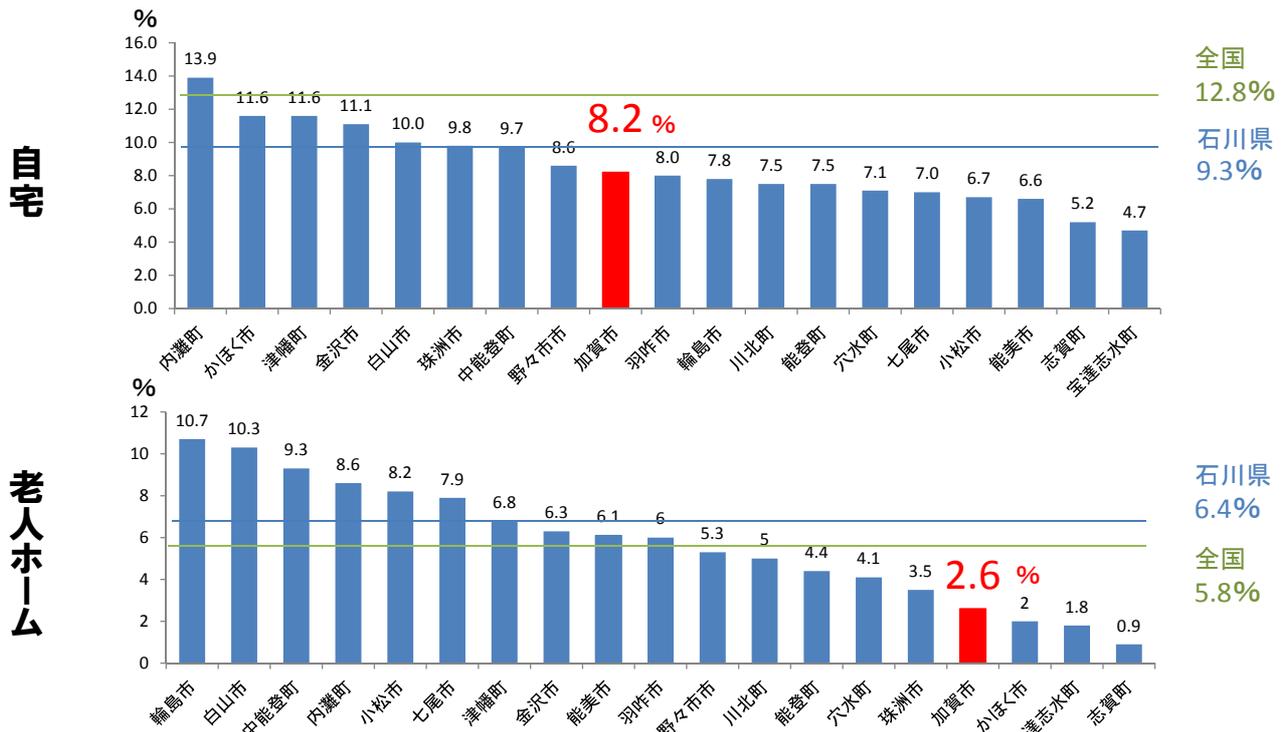
最期を迎える場所 (全国)



最期を迎える場所（「自宅」・「老人ホーム」）

－人口動態調査：平成26年1～12月（厚生労働省）より－

自宅や老人ホームの割合は、全国及び石川県と比較して低い



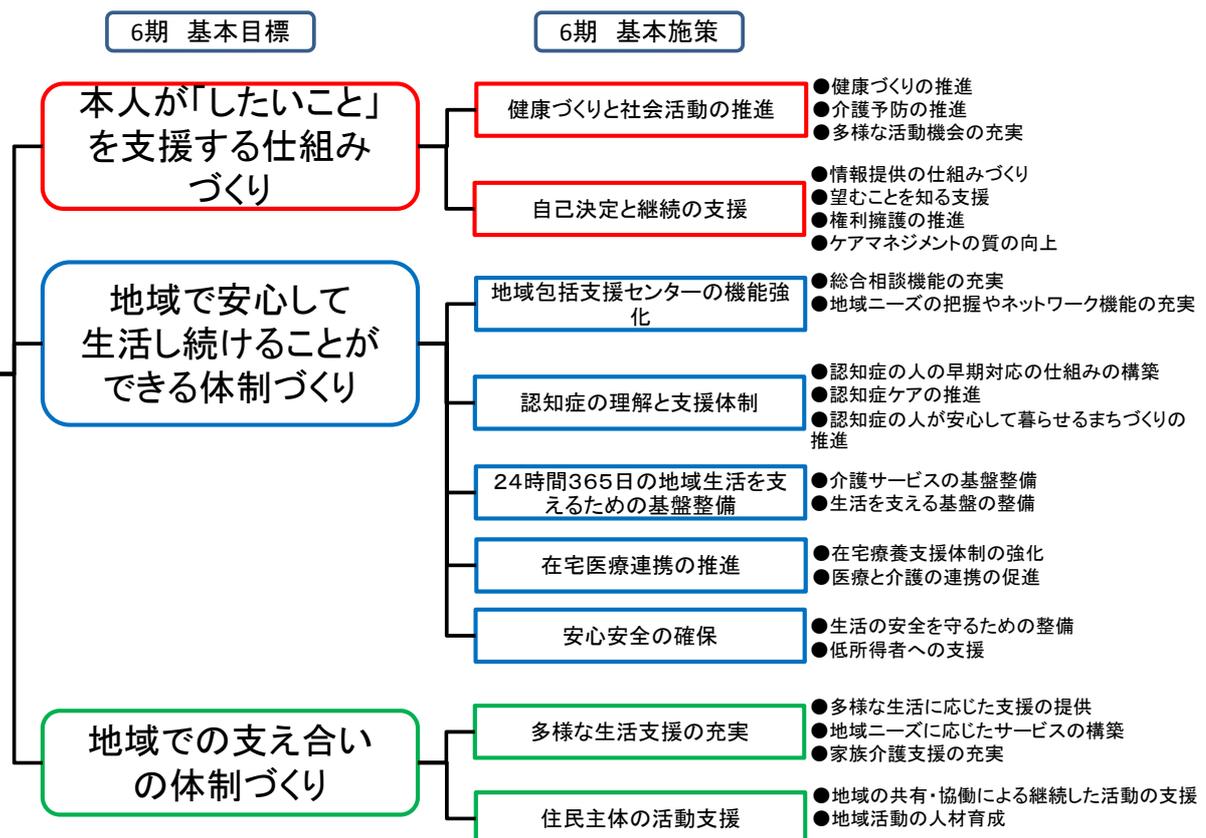
自 宅：自宅のほか、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅（賃貸住宅をいい、有料老人ホームを除く）
老人ホーム：養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホーム

前回資料より

第6期計画の施策体系

第7期計画へ継承

高齢者が住みなれた地域で支えあいながら、その人らしく自立したくらしを継続できる社会を実現する。



「住みなれた地域で暮らしを継続できる社会の実現」に向けた医療・介護連携

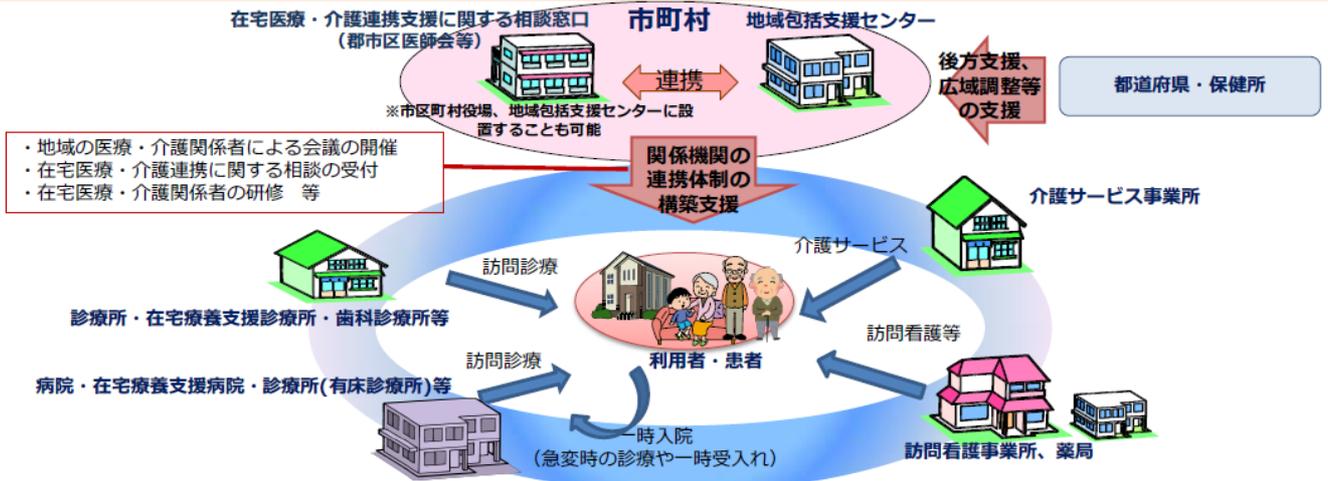
在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関（※）が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。

（※）在宅療養を支える関係機関の例

- ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等（定期的な訪問診療等の実施）
- ・病院・在宅療養支援病院・診療所（有床診療所）等（急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施）
- ・訪問看護事業所、薬局（医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等）
- ・介護サービス事業所（入浴、排せつ、食事等の介護の実施）

- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。

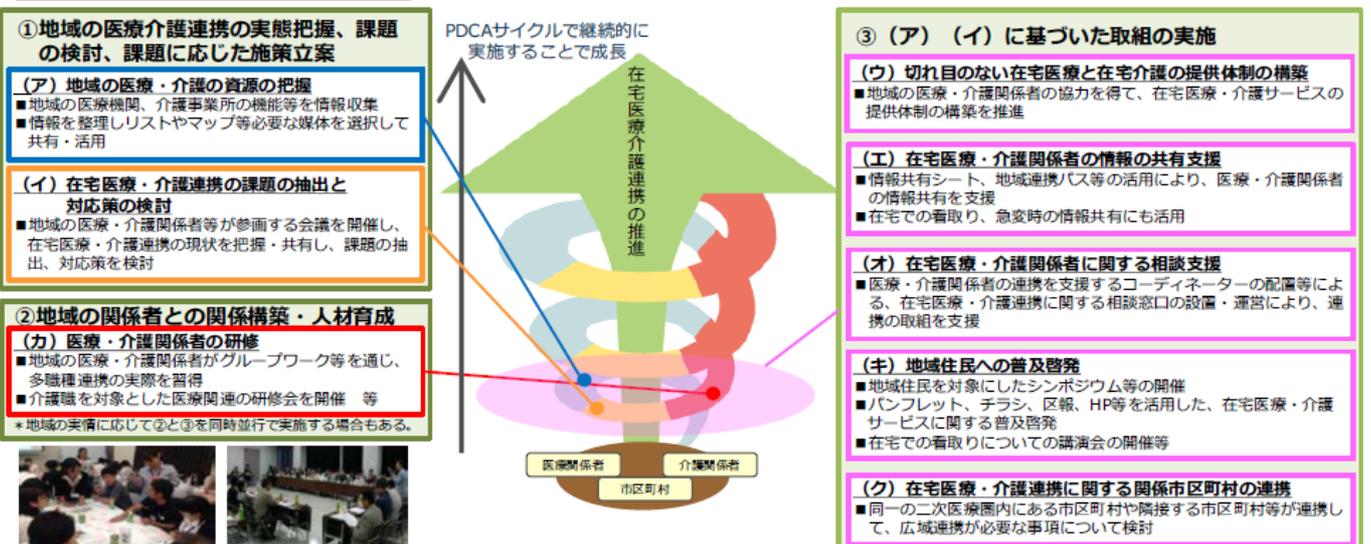


出所：「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.2」（厚生労働省）

在宅医療・介護連携推進事業

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～27年度）により一定の成果。それを踏まえ、平成26年介護保険法改正により制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等関係団体と連携しつつ取り組む。
- 本事業の（ア）～（ク）の8つの事業項目すべてを、平成30年4月にはすべての市区町村が実施。
- 8つの事業項目は、郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県は、市区町村における事業の進捗状況等を把握し、地域の課題等を踏まえ、都道府県医師会等関係団体と緊密に連携しつつ、保健所等を活用しながら、市区町村と郡市区医師会等関係団体等との協議の支援や、複数市区町村の共同実施に向けた調整等により支援。
- 国は、事業実施関連の資料や手引き、事例集の整備、セミナーの開催等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

事業項目と事業の進め方のイメージ

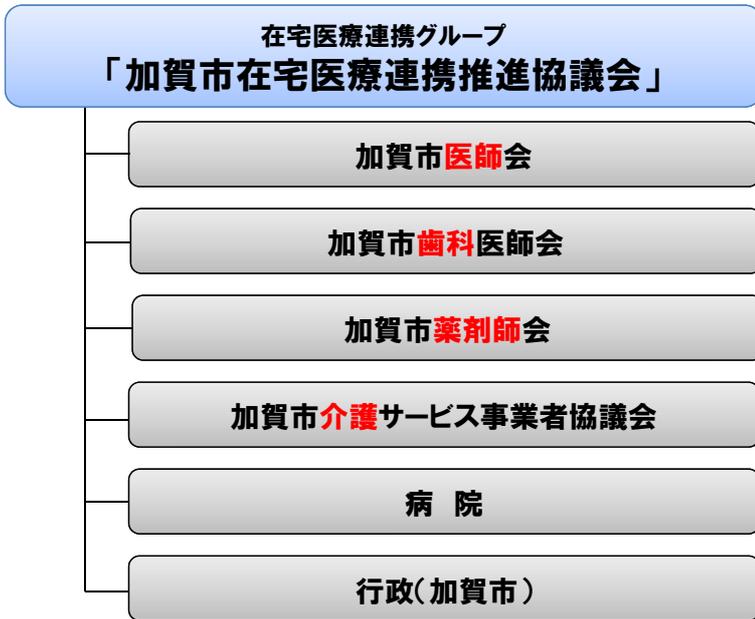


* 図の出典：富士通総研「地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための多職種研修プログラムによる調査研究事業」報告書の一部改変（平成27年度老人保健健康増進等事業）

出所：「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.2」（厚生労働省）

加賀市における在宅医療・介護連携の推進

「石川県医療計画」の趣旨に基づき、平成25年度から、加賀市医師会をはじめ市内の関係団体・機関が一体となって、在宅医療・介護の連携促進の取り組みを実施。平成27年度からは地域支援事業の「在宅医療・介護連携推進事業」の事業項目を協働して実施している。



※在宅医療連携グループ
「石川県医療計画」(平成25年4月)に定めるもの。地域における在宅医療・連携の関係者等が連携して推進に取り組む。医療計画では、人口7万~10万人に1グループ設置としている。

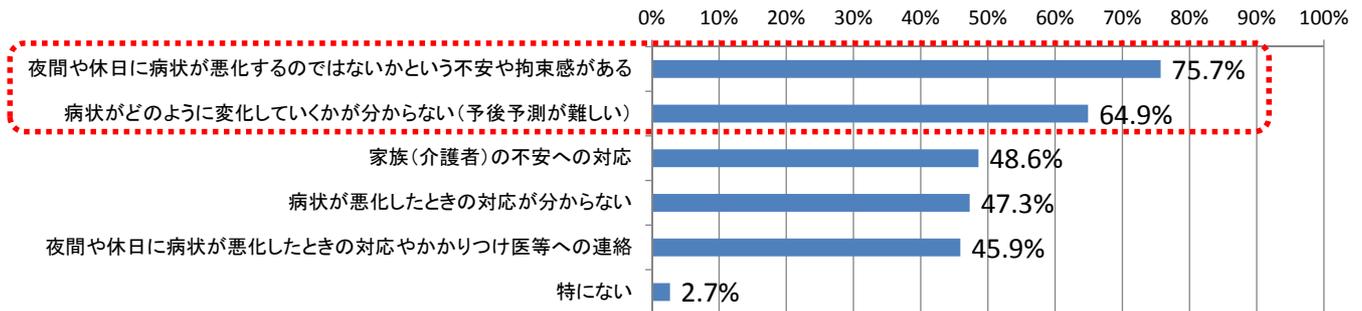
加賀市医療センター「地域連携センターつむぎ」の取り組み

加賀市医療センターの「地域連携センターつむぎ」内に、①病院の地域連携の機能、②地域包括支援センターの機能、③行政の地域医療施策の機能を併設。直接的な患者支援のほか、加賀市が描く地域包括ケアシステムの実現に向け、地域の医療・介護連携の拠点として体制づくりを推進。

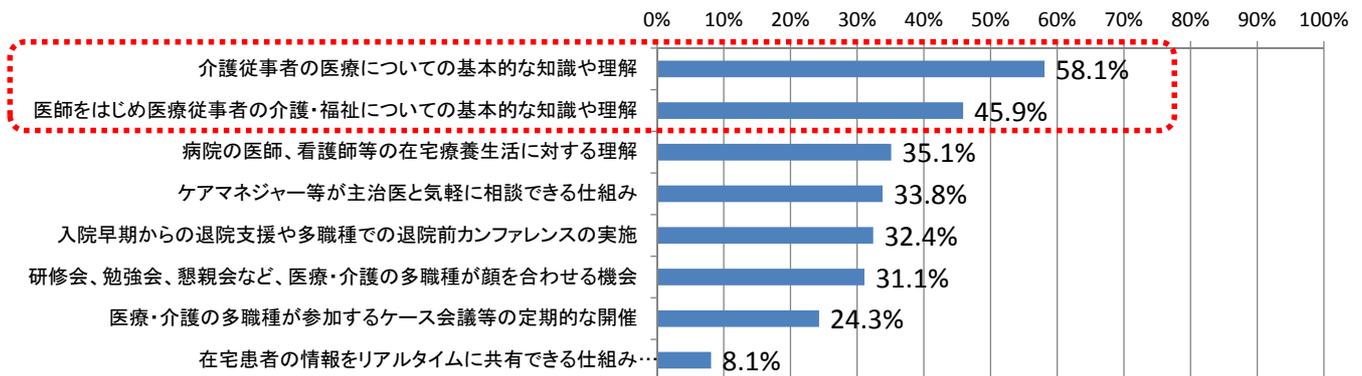


介護サービス供給調査(サービス事業所)から

「医療ニーズの高い利用者の支援を行ううえでの不安、負担」 n = 74



「医療と介護の連携を進めるために必要なこと」 n = 74



重点的に取り組む課題

□ 介護職：医療に関する知識等の向上

- 医療ニーズの高い人の在宅療養生活を支えるうえで、介護職も医療の基本的な知識を学ぶ
例) 病気によって注意しておきたい症状、どのような経過を辿るかの見通し など
- 医師等から観察のポイントや注意点を聞き、必要時には相談できる関係を築く

□ 医療職（特に病院）：本人のくらしに目を向けた医療の提供

- 医療職も介護・福祉の制度等の基本的な知識を学ぶ
- 患者さんのくらしをよく知っている介護サービスとも情報を共有する
- 患者さんが自分で選ぶことができる情報（選択肢）を提供する
例) 入院前のくらしの中で本人が大切にしてきたことや希望を踏まえ、退院後の生活に沿った服薬、栄養摂取の方法や福祉用具、リハビリなどの提案・実施 など

□ 市民：在宅医療に関する周知啓発

- 在宅医療という方法や地域にある医療・介護のサービス（資源）を知る
- そのうえで、自分で選択して決めることができる、自分の希望を周囲に伝えられる（そのことが適切な保健医療サービス、福祉サービスの利用につながる）

第6期における取り組みと第7期の方向性

事業項目・概要	第6期計画期間			第7期における 取組案
	H27	H28	H29	
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	▶			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の医療機関、介護事業所等の機能等を情報収集 ■ 情報を整理し、リストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用 	【取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の診療所・病院の在宅医療の取り組み状況やケアマネジャー等から医師への連絡が取りやすい時間帯等の情報をまとめ、医療・介護関係機関へ配布 			<ul style="list-style-type: none"> ・時点修正 ・掲載する項目の見直し ・歯科診療所、薬局、訪問看護等の情報の追加の検討 <p style="text-align: right;">など</p>
	【評価・課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めて完成、配布したところであり、評価、見直しは、今後の課題。 			
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の把握と対応策の検討	▶			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討 	【取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の専門職(多職種)によるワーキング等により、連携を推進するための取り組み等を検討 ・在宅医療コーディネーター(以下「コーディネーター」)が介護事業所を訪問し、医療との連携の現状や課題についてヒアリングを実施し、ワーキング等で対応を検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・多職種によるワーキングの継続 ・事例を通じた多職種連携研修の企画、実施 <p style="text-align: right;">など</p>
	【評価・課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングにより把握した各病院と介護との連携課題への取組ができていない。 			
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	▶			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進 	【取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域連携センターつむぎ」内に地域連携部門に加え、地域包括支援サブセンター、地域医療推進室を設置 ・つむぎを拠点として、医療と介護の連携推進の取り組みを協働で実施 			<ul style="list-style-type: none"> ・市内病院の地域連携室による病院と介護サービス事業所間での情報連携の課題の協議 <p style="text-align: right;">など</p>
	【評価・課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のない体制構築に向け、つむぎ内の三者が随時協議しながら取り組んでいる。 ・訪問診療を行う医師等の確保など具体的な取組は今後の課題 			
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	▶			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報共有シート・地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援 ■ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用 	【取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによるヒアリングにより、入退院時の医療と介護の情報連携の課題を把握 ・石川県医師会の在宅での診療情報共有システム(ID-Link)利用のモデル事業に参加 			<ul style="list-style-type: none"> ・入退院時の医療・介護間の情報共有の ・脳卒中連携パス等の利用の促進 ・ID-Linkの利用促進 <p style="text-align: right;">など</p>
	【評価・課題】 ID-Linkの利用は一部の医師等に偏っており、広く利用されていない。			

事業項目・概要	第6期計画期間			第7期における 取組案
	H27	H28	H29	
<p>(オ) 医療・介護関係者に関する相談支援</p> <p>■ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援</p>	<p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • H27年度に相談窓口の設置について内部検討 • H28年度に加賀市医療センター開院に合わせ、「地域連携センターつむぎ」を相談窓口とし、在宅医療コーディネーターを配置 • 周知も兼ねて介護サービス事業所を訪問し、課題等のヒアリングを実施 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 在宅医療コーディネーターの役割が明確にされておらず、ケアマネジャー等からの相談は少しずつ入っているが多くはない。(他市町も同様) • また、把握した課題にたいする取り組み、仕組化が今後の課題。 			<ul style="list-style-type: none"> • 地域連携センターつむぎを相談窓口とした在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付 • 在宅医療コーディネーターの役割等の明確化、体制の見直し検討 <p>など</p>
<p>(カ) 医療・介護関係者の研修</p> <p>■ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等の研修を通じ、多職種連携の実際を習得</p> <p>■ 介護職を対象とした医療連携の研修会を開催 等</p>	<p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多職種連携の研修会を実施 (かかりつけ医等認知症対応力向上研修など) <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各職種が主体的に企画・運営する勉強会を実施できている。 • 参加者が固定化している。 • 医療ニーズの高い患者への支援体制構築に向け、事例の積み上げが必要。 			<ul style="list-style-type: none"> • 医療ニーズの高い在宅療養患者等の事例検討会 <p>など</p>
<p>(キ) 地域住民への普及啓発</p> <p>■ 住民を対象にしたシンポジウム等の開催</p> <p>■ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発</p> <p>■ 在宅での看取りについての講演会の開催 等</p>	<p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市民向けの公開講座を開催 • 出前講座(かもまる講座)の実施 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 単発の講演等が主となっており、市民がより詳しく知り、考えられるような機会がない。 			<ul style="list-style-type: none"> • 講演会等を継続的実施 • 関心の高い市民が、在宅医療の仕組みや制度、地域の資源などを学べる機会の検討 <p>など</p>
<p>(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <p>■ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討</p>	<p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 県医師会の啓発事業や多職種連携の研修等を南加賀で協力、分担しながら実施 • 2025年における在宅医療の提供体制の構築に向け県による調整会議を実施 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2025年に向けた医療圏内での具体的な受け皿の準備については今後の検討課題 			<ul style="list-style-type: none"> • 石川県、近隣市町、県医師会等と随時、情報交換 • 県医師会事業の広域での共同実施 <p>など</p>